

後期始業式 校長の話（全校放送）

生徒のみなさん、おはようございます、校長の栗芝です。

前期のまとめについては、先週の金曜日に教頭先生からお話がありました。自分の「夢を実現」するためには、毎日の生活の中で「当たり前のことを当たり前にやっていくこと」が大切で、そのための10のポイントも教えてくれました。

- 1 自分から先にあいさつができる
- 2 「ありがとう」という感謝の言葉が言える ※今朝の出来事
- 3 素直に「ごめんなさい」が言える
- 4 時間を守る
- 5 人の話を聞く
- 6 人を褒める
- 7 思いやりの心をもつ
- 8 落ちているゴミに気が付いたら拾う
- 9 身の回りの整理整頓をする
- 10 そして、10番目に「大きな夢」をもつ でした。

さあ、いよいよ令和3年度の後半がはじまります。前期を振り返って、それぞれが感じた課題や改善点を修正して、ますます充実した学校生活が送れるようにがんばってください。

一人一人の目標は違っていいと思いますが、学校全体としてみた場合には、

3年生は何といっても進路の実現です。以前、お話したとおり、受験は団体戦です。この後、苦しい事や大変なこともあるかもしれませんが3年生みんなで一致団結して、乗り切ってください。みなさんならきっとできます。学校としても誠意一杯の応援をします。

2年生は、夏休み以降、3年生から部活動を引き継ぎました。この後は、コロナで延期になっていた部活の新人戦も始まります。2年生の皆さん、「小見川中」の名前を香取郡市にとどろかせてください。また、先日は生徒会役員選挙もありました。すでに学校の中心として動き出している皆さんですが、来年度、みなさんが「学校の顔」、本当の意味での学校の主役になるために、この後半はさらに実力を蓄える時期です。

1年生は、小学生から中学生になり半年が過ぎました。当初は、授業の進め方や少しずつ難しくなってくる学習内容、また本格的に始まった部活動など戸惑いを感じた人も多かったと思います。しかし、皆さんは、小見川中学校の生徒としての半年を経験しました。前期に自分が感じた課題や改善点をひとつずつ克服してさらに立派な中学生になってください。1年生にとっての後半は、このあと2年生、3年生と続く中学校生活の土台を作る時期です。

最後に、後期が始まるにあたり、現在も小見川中学校として取り組んでいる大切なことを確認します。

- 1 元気なあいさつ
- 2 黙道清掃
- 3 下駄箱のくつをそろえる です。

教頭先生のお話にも「当たり前のことを当たり前にやる」ことが、夢を叶えるために大切だとありました。

受検の本番や部活動の大会の「ここ一番」で力を発揮できるのは、日頃の積み重ねがあるからです。普段「当たり前のことをできない人」、1日1日を大切にしていな人が、本番の時だけうまくいくなんで、そんな都合のいい話はありません。

今はメジャーリーガーと言え、大谷翔平選手ですが、ちょっと前は、イチロー選手というすごい日本人の選手がいました。その人の言葉です。

小さなことを積み重ねることが、とんでもないところへ行くただ一つの道
イチロー

生徒の皆さん、後期もみんなでがんばりましょう。